

ふれあい情報

2017年 9月20日(水) 第262号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 菅井 義夫
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

2017全国高齢者集会に全国から2,000人が参加



人見一夫会長

今回の高齢者集会の特徴は、会員同士のふれあいの場を企画したこと。そのため第一部を式典として従来の流れを活かしつつ、新たに第二部を設け、「交流の広場」としました。

第2部を「交流の広場」に

主催者を代表してあいさつに立った退職者連合の人見一夫会長は、衆議院の解散・総選挙の動きを踏まえながら「安倍政権の方向違いの政策運営、問答無用の国会運営をやめさせ、政治の流れを変えなければならない」と強調し、行動する退職者連合としての奮闘に参加者に呼びかけました。

来賓では、連合の神津里季生会長、民進党の大島敦幹幹事長、社民党の吉田忠智党首、中央労福協の花井圭子事務局長、労金協会の吉田正和副理事長、全労済の濱田毅司常務執行役員が登壇してあいさつしました。

退職者連合、連合、労働福祉団体などで構成する実行委員会主催による2017全国高齢者集会が、9月14日午後1時から、文京シビックホールで開催されました。全国から参加した退職者連合の会員2000人は、「安倍政権の無法政治をやめさせる絶好の機会が到来、政治の流れを変えるために連合をはじめ幅広い勢力と力を合わせ、衆議院総選挙を勝ち抜こう(要旨)」とのアピールを採択し、参加者全員で選挙闘争への意思統一をはかりました。また集会終了後には、都内をデモ行進して「生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう」と訴えました。(詳細は、退職者連合HPをご覧ください。)

総選挙闘争を勝ち抜こう!

安倍政権の無法政治をやめさせ、政治の流れを変えるため

集会アピール

第一回目となった今回は、岡山県退職者連合の協力を得て実施。三人の女性会員のみなさんが岡山市内の養護老人

ホーム訪問活動で演技している「剣詩舞」を披露(2頁に写真)。熱演する三人に会場からは、盛んな拍手が贈られました。また演技した三人からも「初めて大きな舞台で演技させてもらい大変感謝しています」との喜びの声をいただきました。



▲「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう!」をスローガンに開かれた今年の全国高齢者集会。(9月14日、都内・文京シビックホール)

がんばる地域からの報告

今年も全国各地でがんばっている会員のみなさんの声が、会場に届きました。地域での奮闘は、まさに「行動する退職者連合」の証といえます。被災地と北海道から取り組み報告を受けました。

被災地からの訴え

東日本大震災では、岩手

ための一万人署名やカンパ活動支援」の取り組み報告がありました。

また、昨年四月に発生した熊本地震における復旧・復興については、熊本県退職者連合の米岡新一事務局長が厳しい状況を訴えました。

北海道からの平和大使は、今年で五代目。北海道退職者連合では、連合北海道と連携して「北海道高校生平和大使派遣実行委員会」をつくり、毎年二人の高校生大使を派遣するために組織内での署名・カンパ活動をはじめ、札幌、函館、旭川、室蘭、北見などの各地で街頭署名や派遣のための街頭募金活動を展開しています。

核兵器廃絶の願いを込めて

北海道退職者連合の富山隆会長からは、五年前からはじめた「核兵器廃絶を訴える高校生平和大使派遣の

今年、7月22日に室蘭で原爆・ネル展を開催、街頭署名を実施したとのことです。

▼見事な「剣詩舞」を披露した岡山退連・全印刷局退職者の会岡山支部のみなさん(写真は演技順)



弓削香苗さん



田上百合子さん



岡崎容子さん

おめでとう！ 1個人・1団体 表章伝達式



▲受章者・左は、小林須磨子さん(エイジレス・ライブ)。右は、合唱サークル「睦」(社会参加活動)代理の清水史朗・北海道退職者連合会長代行(北海道退教会長)。

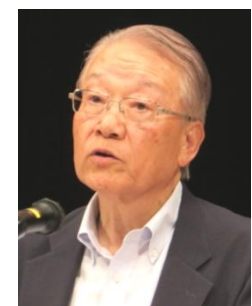
式典の中で内閣府「平成29年度エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」事業での表章伝達式が行われました。今年、エイジレス・ライフ実践事例で小林須磨子さん(NTT労退)と社会参加活動事例で札幌市退職教職員協議会の合唱サークル「睦」が受章し、人見会長が賞状と楯を伝達しました。



菅崎久会長



米岡新一事務局長



富山隆会長



(写真)会場から西神田公園までの一五キロをテモする参加者。第一グループで横断幕を持ち、東京ドームの横を怒りの声をあげて行進する人見会長(中央)、菅井義夫事務局長(右端)ら退職者連合の役員。